

高潮浸水想定区域の見直しの概要

神奈川県では、台風などにより想定し得る最大規模の高潮が発生した場合に、東京湾沿岸で浸水が想定される区域（高潮浸水想定区域）を平成31年4月に指定しました。

しかし、令和元年台風第15号の影響によって、この区域を越える範囲が浸水したことを受けて、国が「高潮浸水想定区域図作成の手引き」を改定し、これに伴い、東京湾沿岸の高潮浸水想定区域の見直しを行いました。

○ 今回見直した条件 ※赤字箇所を追加

・ 想定する台風の規模

台風の中心気圧 : 910hPa（室戸台風級） ※変更なし

暴風半径（最大旋衡風速半径） : 20, 30, 40, 75km（伊勢湾台風級）

台風の移動速度 : 20, 30, 40, 50, 53, 60, 73km/h（伊勢湾台風級）

※さまざまな暴風半径と移動速度を組み合わせてシミュレーションを行いました。

※想定する台風が東京湾周辺を通過する確率は、1,000～5,000年に一度程度となります。

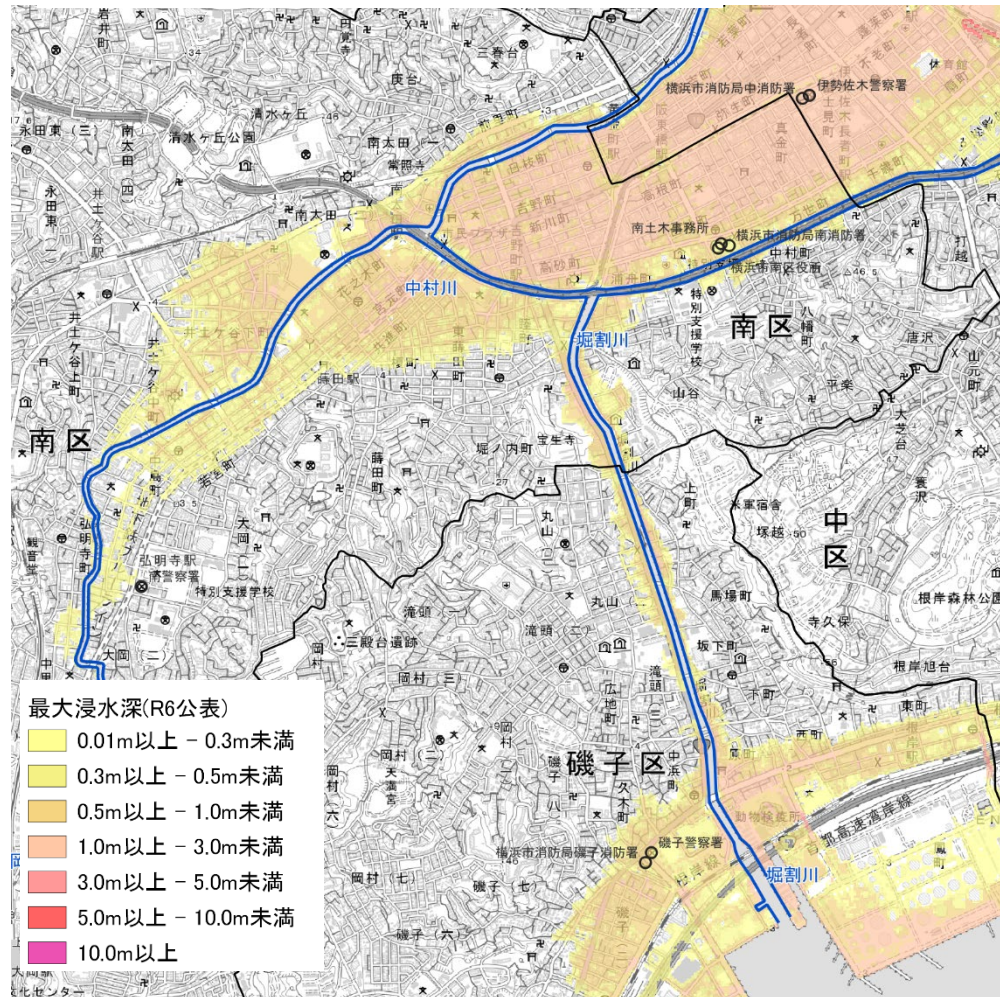
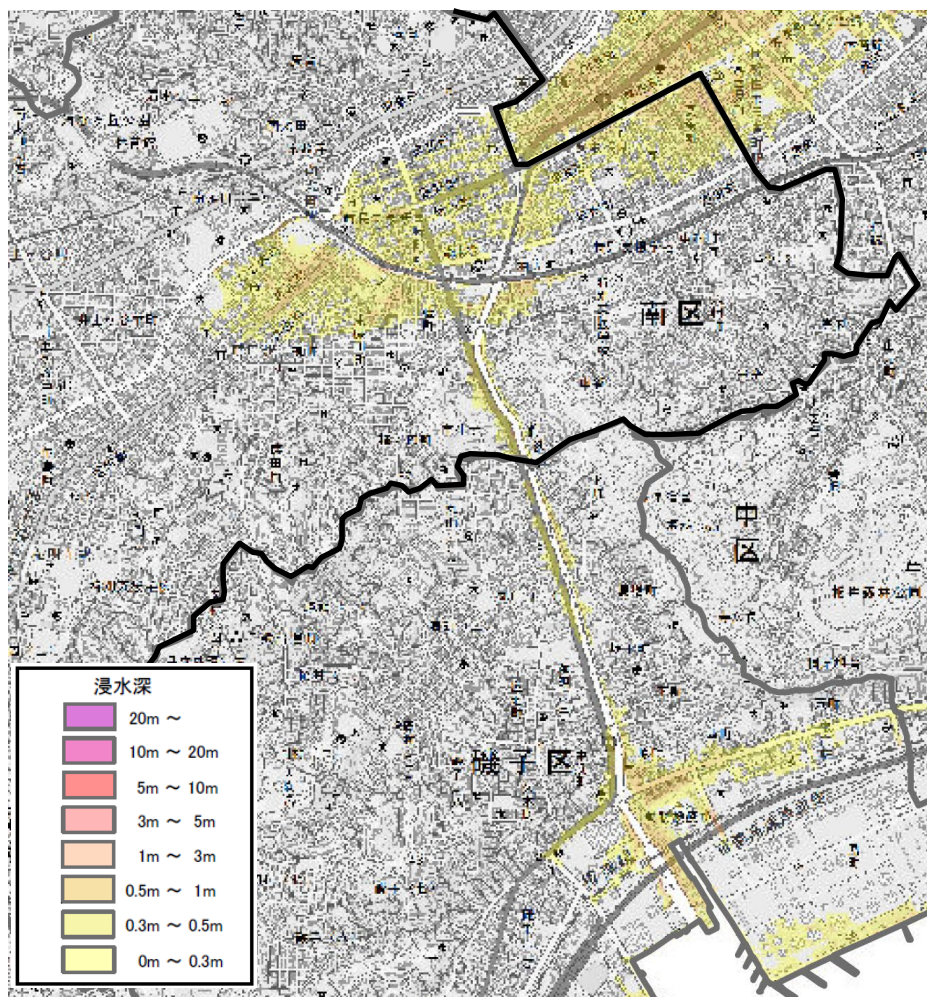
・ 最悪の事態を想定したシナリオ

- ① 台風接近に伴う降雨が想定されることから、河川における洪水の発生を想定しています。
- ② 波浪等が施設の設計条件に達した段階で護岸等は倒壊することを想定しています。
- ③ 護岸等が倒壊しない場合に排水されないことから浸水が広がる事象もあるため、倒壊しない場合も想定しています。

○ 横浜市(南区)の浸水想定区域(比較)

最大の浸水深(前回)A=0.6km²

最大の浸水深(今回)A=1.9km²



高潮特別警戒水位の見直しについて

- ・東京湾沿岸(神奈川県区間)を、高潮により相当な損害が生じるおそれがある海岸として指定し、高潮による災害の発生を特に警戒すべき水位となる「**高潮特別警戒水位**」を、これまで横浜市を4つの区域に分割して設定していましたが、気象警報・注意報の発表単位と同様に1つの水位に集約しました。
- ・検潮所の観測水位がこの水位に到達した場合には、県は「**高潮氾濫発生情報(警戒レベル5相当(緊急安全確保))**」を発表し、報道機関等の協力を得て周知します。

(横浜市の高潮特別警戒水位)

水位周知実施区間	水位観測所	高潮特別警戒水位 (T.P.m)
横浜港	横須賀	1.35

※設定した高潮特別警戒水位の運用は令和6年4月末から開始する予定です。

○ 状況に応じた避難行動

近隣の避難所や
浸水想定区域外への避難

高潮警報※等の発表 ⇒ 市が**避難指示**を発表

通常的水位

危険な水位に達する予測



※高潮警報(警戒レベル4相当)

危険な水位に達することが予測される場合、3～6時間前に気象庁が発表する情報で、まだ風は強くない状況であり、近隣の避難所や浸水想定区域外へ避難できる段階



さらに水位が上昇

緊急安全確保
命の危険直ちに安全確保!

(水位の設定により追加する対応)

高潮特別警戒水位に到達 ⇒ 県が**高潮氾濫発生情報※**を発表

通常的水位

高潮による水位の上昇



※高潮氾濫発生情報(警戒レベル5相当)

高潮により水位が上昇し、いつ氾濫が発生してもおかしくない切迫した状況であることを県が発表する情報で、氾濫の発生に対する対応(緊急安全確保)が求められる。